

地 理 B (4 問題 100 点)

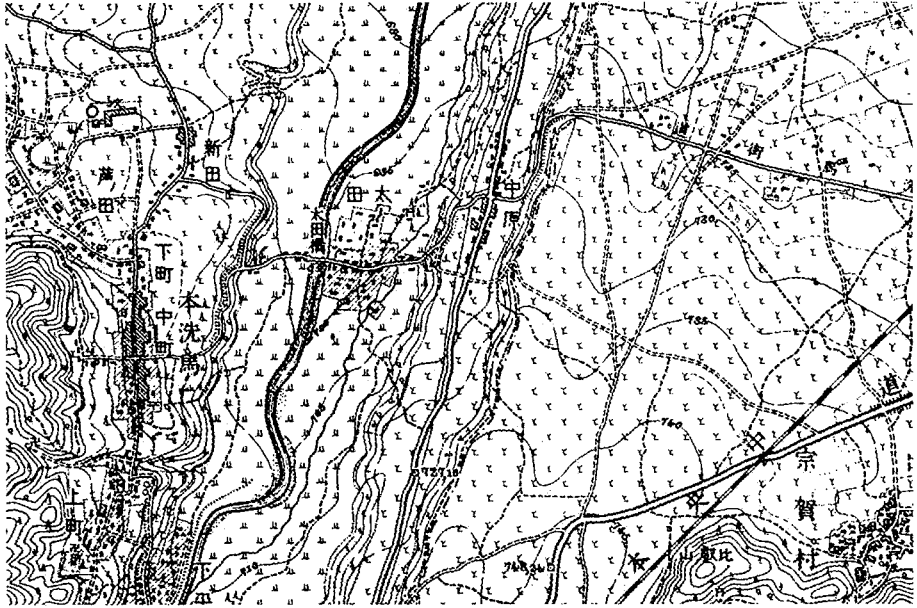
I 地理 B 問題

(20 点)

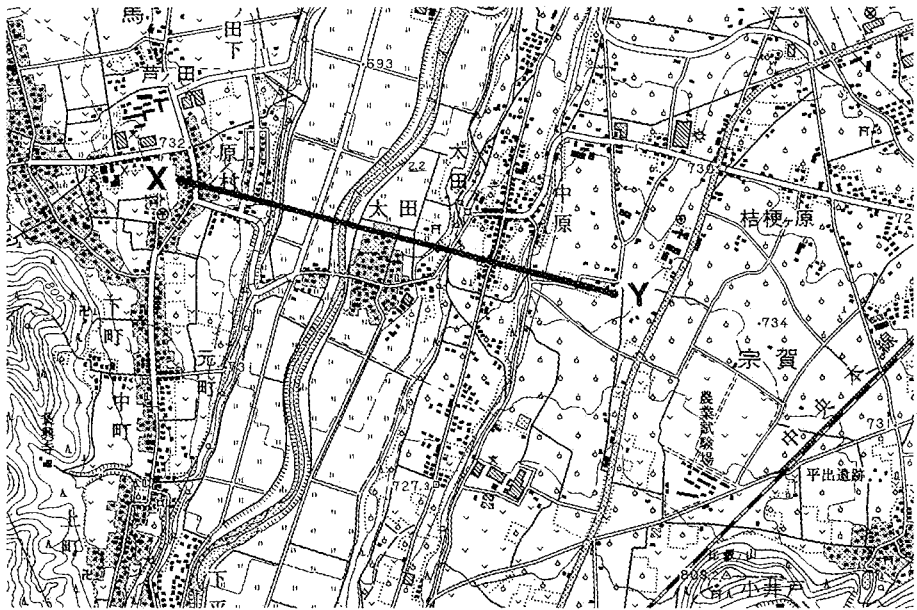
右ページに示す地形図は、明治 43 年(1910)測図(図 A)と平成 13 年(2001)修正測図(図 B)の 2 万 5 千分の 1 地形図の同一範囲を示したものである(原寸大)。この 2 つの地図を見て、問(1)~(5)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

問

- (1) 図 B 中の直線 X—Y に沿う地形の断面図を解答欄の内側の太い実線の枠内に描き、X、Y の記号と垂直方向の尺度をその外側に記入せよ。水平方向の縮尺と垂直方向の縮尺は、異なってもよい。
- (2) X—Y 間に見られる地形の特徴について、地理学の用語を用いて、40 字以内で述べよ。
- (3) 図 A 上で判読できる、地形に対応した土地利用の特徴を、40 字以内で述べよ。
- (4) 図 A と図 B の 2 つの年次の間が生じた、土地利用における主要な変化について、40 字以内で述べよ。
- (5) 図 A と図 B の 2 つの年次の間で最も減少した土地利用で栽培される作物は、何という産業に用いられるか、産業名を答えよ。



図A 明治43年測図



図B 平成13年修正測図

II

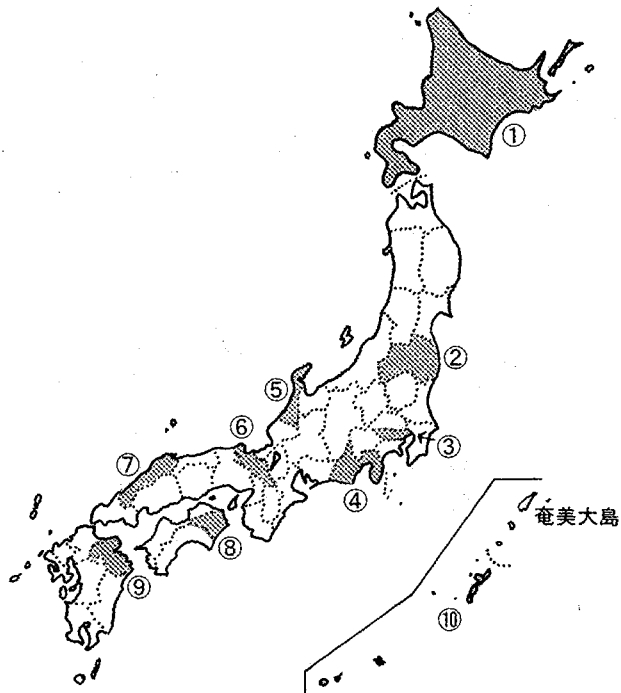
地理B問題

(25点)

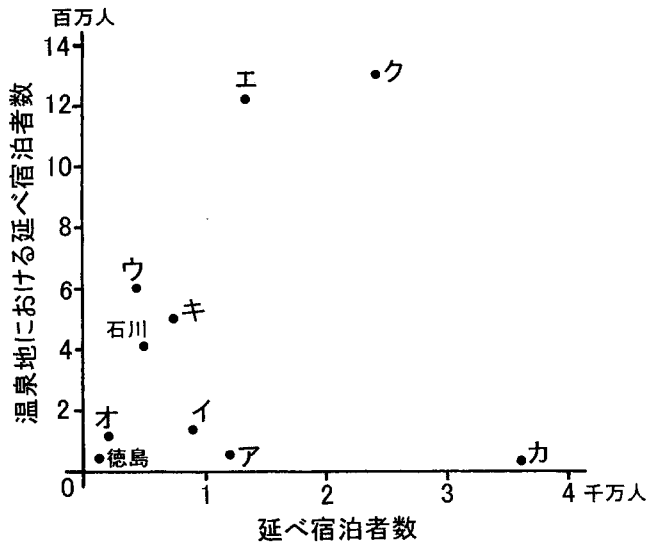
宿泊旅行と観光について、問(1)~(4)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

問

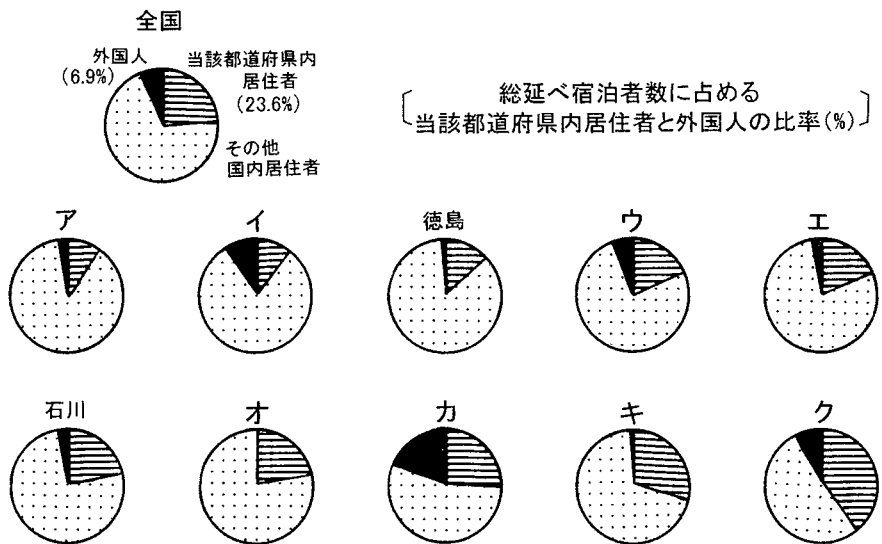
- (1) 右ページの(A)のグラフ、および(B)の円グラフ群に示したア~クは、下の地図中の①~⑩の都道府県のいずれかである。ア~クに該当する都道府県名を答えよ。なお、(A)と(B)の図中では、同一記号は同一都道府県を示している。
- (2) (B)のア、ウ、クの円グラフを検討し、当該都道府県内居住者による宿泊者の比率の大小に影響する地域的要因を2点、挙げよ。
- (3) (B)のイとカの円グラフを検討し、国内居住者による宿泊に対し、外国人宿泊者数の比率を相対的に大きくする地域的要因を2点、挙げよ。
- (4) 最近、地域の自然や農林漁業資源などを活用した観光が注目を集めている。このような観光を何と呼ぶか、答えよ(解答欄(i))。また、こうした観光によって、観光を提供する地域の人々ならびに観光客の双方にとって、どのような効果が期待できるか、80字以内で述べよ(解答欄(ii))。



(A)



(B)



資料：観光庁「宿泊旅行統計」(平成 20 年度)

(<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryo/toukei/shukuhakutoukei.html>)

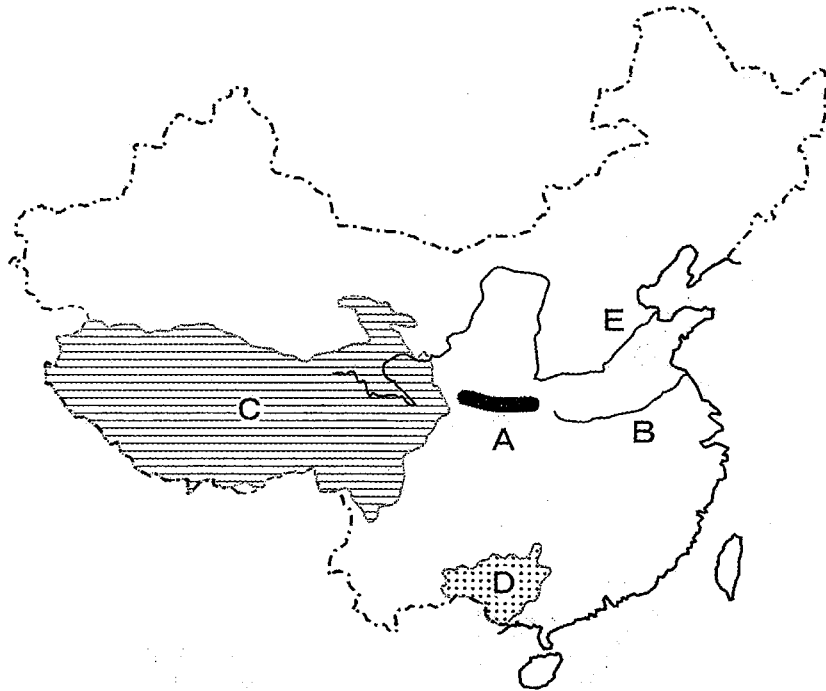
環境省「温泉の保護と利用」(平成 20 年度)

(<http://www.env.go.jp/nature/onsen/index.html>)

III 地理B問題

(25点)

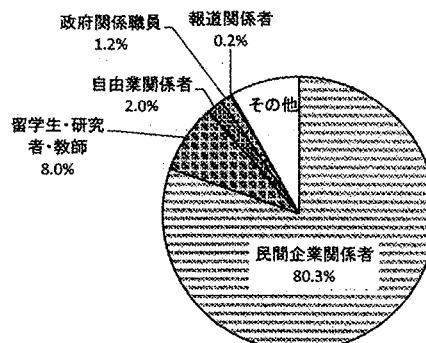
下の地図を見て、問(1)～(7)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。
 字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。



問

- (1) 地図中の、北部の畑作地域と南部の稲作地域を分ける山脈A(解答欄①)と河川B(解答欄②)の名前を答えよ。
- (2) 中国は国土が広大であり、国内の気候が多様である。中国でみられない気候を、以下のあ～かから2つ選べ。
 あ 温暖湿潤気候 い 温暖冬季小雨気候 う 砂漠気候
 え 西岸海洋性気候 お 熱帯雨林気候 か 冷帯冬季小雨気候
- (3) 地図中の地域C(解答欄①)と地域D(解答欄②)に分布する主要な少数民族名を答えよ。
- (4) 地図中の河川Eの流域においてどのような環境問題がみられるか、50字以内で述べよ。

- (5) 中国では、漢民族の1組の夫婦に子供は1人とする一人っ子政策が、1979年に始まった。この結果、出生率は低下したが、問題点のあることも知られている。どのような問題点か、40字以内で述べよ。
- (6) 近年における中国の工業生産の伸びは著しいが、そのきっかけとなった経済特区について、60字以内で説明せよ(解答欄①)。また、経済特区名を1つ挙げよ(解答欄②)。
- (7) 下の図は、2008年において中国に長期滞在している日本人の職業別割合を示したものである。民間企業関係者が圧倒的に多い理由を、50字以内で述べよ(解答欄①)。さらに、日本人の長期滞在者が最も多い中国の都市を挙げよ(解答欄②)。



資料：外務省領事局政策課『海外在留邦人数調査統計』

IV	地理B問題
----	-------

(30点)

次の文章を読み、下の問(1)~(5)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

右ページの表には、近代の入植・移民が始まる前から話されていた固有言語¹⁾の数が多し上位15か国が示されている。この表には、移住者(入植・移民者やその子孫)が話す移住言語²⁾の数、脊椎動物と顕花植物³⁾の固有種⁴⁾の数の順位、国の面積も示されている。熱帯・亜熱帯地域の国ほど生物多様性は豊かであるといえるが、移住者の入植活動、外来作物の導入、天然資源の開発、ダムや道路建設などによって、生物だけでなく文化の多様性も危機にさらされている。

注 1) 固有言語は、近代の入植・移民が始まる前から居住していた人々が使用する言語。

2) 移住言語は、近代以降の入植・移民活動によって持ち込まれた言語。

3) 顕花植物は、花をつけ種子を作る植物。

4) 固有種は、特定の地域に生息、生育する動植物の種、または亜種。

問

- (1) 右ページの表中の(A)と(B)の国名を答えよ。
- (2) 右ページの表中には、(A)と(B)の2か国からの移住者が人口の3分の1近くを占めている国がある。その国における移住者と現地住民の社会・経済的関係について、100字以内で述べよ。
- (3) 1970年代以降、(C)国ではサトウキビや大豆の栽培面積が急増した。その背景にあるサトウキビの食品としての利用以外の新しい用途(解答欄ア)、大豆の世界市場での需給バランスの変化(解答欄イ)、大豆栽培における技術面での革新(解答欄ウ)について、それぞれ答えよ。
- (4) (D)国のマイノリティとされる人種・民族集団の構成は、20世紀末から顕著な変化を見せている。その変化の特徴を、40字以内で述べよ(解答欄ア)。また、マイノリティで最大人口を有している人種・民族集団は、現在どこに居住しているか、その地域的分布の特徴を、60字以内で述べよ(解答欄イ)。

- (5) (E)国の脊椎動物の固有種数の順位は1位である。有袋類などの特異な哺乳類が棲息すること以外に考えられる理由を、30字以内で述べよ(解答欄ア)。また、この国の先住民や移民に関する政策は、1970年代以降、どのように変化したか、80字以内で述べよ(解答欄イ)。

国名	言語の数*		固有種数の順位**		面積*** (万 km ²)
	固有言語	移住言語	脊椎動物	顕花植物	
パプアニューギニア	830	0	13位	18位	46
インドネシア	719	3	4位	7位	186
ナイジェリア	514	7	—	—	92
(A)	438	7	7位	12位	328
(B)	292	4	12位	3位	959
メキシコ	290	6	2位	4位	196
カメルーン	278	1	23位	24位	47
コンゴ民主共和国	215	2	18位	17位	234
(C)	181	12	3位	1位	851
(D)	176	188	11位	9位	963
フィリピン	171	10	6位	25位	30
(E)	161	46	1位	11位	769
マレーシア	137	8	14位	—	33
スーダン	133	1	—	—	250
チャド	131	2	—	—	128

固有種数の順位欄の「—」は、上位25位に入っていないことを示す。

面積は、万.km²未満は切り捨てしている。

資料： *Ethnologue (2009).

**Conservation Biology in Practice, Vol. 3, No. 1(2002).

***Demographic Yearbook (2007).

地理Bの問題は、このページで終わりである。